

保育博 child edu&care JAPAN
— 保育・教育ビジネス&サービスフェア —
2023年11月21日(火) - 22日(水)
東京都立産業貿易センター浜松町館
www.hoikuhaku.com
詳細はこちら

園づくり・人づくりを考えるIT専門紙 パステルIT新聞

購読申込(無料)・掲載依頼のお問い合わせは「パステルIT新聞事務局」まで
〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋436-1 ☎054-626-8888 ☎054-626-3371
発送先数: 11,751施設 (幼稚園 30% 保育園 40% 認定こども園 29% その他 1%)
創刊: 2008年6月20日 発行: 株式会社サンロフト

今月の紙面

- 1 「景色合わせ」からはじめる 業務改善とDX 組織風土を行動習慣で醸成する
- 2 業界リーダー語る あたらしい保育イニシアチブ コラム「保育者とAIがパートナーとなる未来」
- 3 IP無線機ですぐに連携 日頃の防災意識を高める 即実行・即実感 業務棚卸表で改善の一手を
- 4 もしもしIT相談室「登降園システム化のメリット」 がんばれ!!わかば先生 Vol.176

特集
業務改善・DX推進

「景色合わせ」からはじめる 業務改善とDX

「働き方改革を推進するも残業が減らない」「ITに対する職員の意見が異なる」など一筋縄ではいかない業務改善。組織開発を専門とする沢渡あまねさんに業務改善で押さえたプロセスを伺いました。

「業務改善で一貫して大事なポイントは『みんなで同じ景色を見る』ことです」そう語るのは、ワークスタイルや組織開発の専門家、400以上の企業・自治体・官公庁で働き方改革や組織変革を伴走してきた沢渡あまねさん。そのプロセスには大きく4つのポイントがあるといいます。最初のステップは、「ありたい姿」を描き、職員全

員で共有する(または一緒に描く)こと。大きな夢というよりも、「残業を減らして早く帰れるようにする」「ペーパーレスの園をつくる」など、イメージしやすい近い未来の姿を描きます。次に大事になるのは、「まず一つ小さな余白」をつくること。1日30分/週に1時間というように、ありたい姿を自分ごととして捉え、行動を起こすための余白を

「景色合わせ」からはじめる業務改善

Step1 ありたい姿を描く
「園/個人としてありたい姿はなにか?」「どんなことに価値を感じているか?」などをテーマにワークショップを行っていきましょう。園全体で同じ景色を見ることが1人1人の自律心の向上につながります。

Step2 1日30分。小さな余白をつくる
大事なのは「小さな楽になった快感体験」をつくること。毎日/毎週/毎月行っている業務、1日に数回発生している業務などから効率化・削減できる業務を話し合しましょう。

Step3 余白でやりたいことを決める
「次の園行事で新しいことをやってみたい」「次に勉強するテーマを考えたい」「リフレッシュの時間を大切にしたい」など、個人/園としてやりたいことを共有しましょう。

Step4 現在時間と未来時間のバランスを取る
週の3割は目先の仕事以外に時間を使うことを組織として承認するなど、未来時間の確保を組織として推奨していきましょう。まずは週のスケジュールをふりかえる意識づくりから。

「保育活動などの特殊性を帯びやすい直接業務は完全に自園に合ったITサービスを見つけない。一方で、日々当たり前のように行っている間接業務やコミュニケーション業務はローを標準化しやすく関わる人数も多いため、効果や変化を実感しやすい」

沢渡さんはコミュニケーションを可視化するツールとしてチャットツールやグループウェアを推奨(SlackやLINE WORKSなど)。その場にいらない関係者とも情報を共有できる場をつくることで、職員間の助け合いや情報の共有が起りやすくなり、さらに、そうした「一人で悩まなくてよい状況」が業務のスピードや園の一体感につながると思います。しかし、ここで注意しな

組織風土を行動習慣で醸成する



『コミュニケーションの問題地図』では情報共有に潜む問題と改善点を指南

くはならないことは余白を目先の仕事で埋められてしまうということ。沢渡さんは業務改善の3つ目のポイントとして「余白を使ってやりたいことを決めること」を挙げ、園全体が理想像に向かう時間を確保することが重要と続けました。そして最後のポイントは、「現在時間と未来時間のバランスを取る」とです。今すぐ成果の見えやすい現在時間(目先の仕事)に対し、未来時間は成果が出るまで

ワークスタイル&組織開発専門家 沢渡あまねさん

あまねキャリア(株) CEO。「組織変革Labo」主宰。400以上の企業・自治体官公庁で組織変革の伴走や講演を行う。著書は『職場の問題地図』『新時代を生き抜く越境思考』他。趣味はダム巡り。

文・服部由実

業務改善が自然と起こる風土づくりについて沢渡さんは、「トップが率先して改善に取り組むこと」「改善と一緒にやって取り組み、改善がなぜ大事かをしっかりとくい続けること」「改善に取り組む職員やチームを評価すること」が定着の要になるといいます。

「組織風土は行動習慣によって醸成され、良くも悪くもなる。誰か一人ではな

園職員向けコミュニケーションツール

情報共有サービス nanoty ナノティ

すべての職員がいつでもどこでも確認できる
職員会議・研修内容 | クラスの出欠状況 | 園児の成長の様子

nanotyで業務改善しました!

ユーザー園のインタビュー動画は → 園 ナノティ

あたらしい保育イニシアチブ2023

業界リーダーが熱く語り合う これからの保育の在り方

官民学が一体となって未来の保育業界について語り合うことを目的とした「あたらしい保育イニシアチブ2023」が2023年9月10日に開催され、保育関係者970名が参加しました。



公募により選ばれたプレゼンターが自身の取り組みを発表するなど、新たな試みも行われた

加速する少子化やAIの登場など世の中が大きな変化を迎える中、昨年に引き続き東京大学で開催された「あたらしい保育イニシアチブ2023」。こども政策担当大臣やマタレント、園経営者、有識者、企業など業界をけん引する39名が登壇し、これからの保育の未来を語る計11のセッションが行われました。

オープニングを飾ったのは「こども未来戦略方針と保育政策」。こども家庭庁

午後三講堂に分かれ、児童発達支援事業所の開設や保育園の多機能化などの

の小倉将信 大臣からこども誰でも通園制度や保育者の処遇改善など今後の方針が語られました。小倉大臣の「子どもの声を聞くことが政策により影響を与え、子どもが抱える閉塞感を解決する」という言葉に対し、玉川大学の大豆生田啓友教授は「こどもまんなか社会は子どもだけでなく全ての人が幸せな社会。地域をいかに巻き込むかが重要」と園の役割についてコメントを寄せました。

時代を先取りする 多様なテーマで議論

児童発達支援事業所の開設や保育園の多機能化などの

あたらしい保育イニシアチブ

2021年6月に立ち上げられたプロジェクト。既存の制度や事業にとらわれず未来の保育ビジョンを共に描き、喜び合い、議論する場としてイベントを開催している。

文・山口捺暉

コラム 保育者とAIが パートナーになる未来

株式会社H&Eテクノロジー
代表取締役社長
原山青士氏



子どもの頃、存在しなかったもので、今の生活になくはない存在になつたものは何でしょうか？ スマートフォン、Google検索、Googleマップ、交通系ICカード、Amazonや楽天のオンラインショッピング。これらを支えるITは、従来の紙や電話、手作業よりも圧倒的に効率的であることから急速に普及しました。さらに、ITの場合同、これらの行動のすべてがデータとして蓄積され、例えば、皆さんのスマートフォンでの利用データを学習したAIが日々お勧めの商品やニュース、動画を紹介してくれます。保育園の現場を考えると、登降園の管理、保護者とのコミュニケーション、保育日誌、スタッフのシフト管理など、かつては紙や電話を主体としていた業務がIT化され、業務効率が飛躍的に向上している園が増えています。

原山青士

ITベンチャーの経営と保育者養成校である大阪キリスト教短期大学の教員を務める。

プロフェッショナルコラム・第113話

現場の思いを受け止める経営

学園経営コンサルタント
石田 敦志



未知との遭遇セミナーを毎年開催しています。経営情報だけではなく、開催した地域やゲスト講師・参加者との出会い等、様々な未知と遭遇してほしいと願って始めたセミナーです。今年現場の教員・保育者の本音に「未知との遭遇」していただくとうと企画しました。当日はやまびこ幼稚園と幸田みやこ認定こども園の2年目の先生から主任・園長まで、複数人のチームで自園と自分の仕事を語ってくれました。他園だから聞ける現場のリアルな話は、参加した方の今後の園づくりにきつと役立っていただけだと思います。誰もが思いを持っていません。応えられない思いもありませんが、園経営者は職員

石田 敦志

「みんなをHAPPYに」の信念のもと、自身の経験を活かし、園経営、教職員育成を支援。無料メルマガ申込は左記アドレスから。
aishioda44@edure.jp

オンライン
製品説明会
好評開催中！



「午睡中の園児の安全対策に！センサーで危険をすばやく検知！」

うつぶせ寝見守りシステム

す や っ ぴ

大成ネット株式会社
☎ 03-5488-8545



- ✓ うつぶせチェック
- ✓ 体動チェック
- ✓ 記録の自動化
- ✓ 帳票出力

保育博 child edu&care JAPAN

に 出 展 し ま す ！

2023年11月21日(火) ▶ 22日(水)
東京都立貿易センター浜松町館

「スマホスキャンでスキャンダル!?」編



スマホカメラで書類をデータ化すると便利です。その際、iPhoneはメモ、AndroidはGoogleドライブなどのアプリを使い、スキャン機能で読み取ると、きれいでデータ管理もしやすくなります。



パステル Apps 出欠内容の確認画面。登降園の時間を確認したり、記録された人数の自動カウントもされ、ひと目で把握できる



子どもたちの安全管理や職員の情報共有に必要な「登降園管理」。システムの導入を考えるとときにポイントとなる業務の一つでもあります。登降園管理をシステム化するメリットは以下のような内容があげられます。

◎正確さの向上

手書きの記入ミスを防ぎ、Excelなどの管理表への転記作業が不要になります。リアルタイムに記録される履歴も残るため、先生も保護者も安心感を得られます。

◎情報の共有の向上

保護者がスマホから連絡できることで、時間に気にせずに必要な内容を園に連絡・相談することが可能。また、職員はシステムの画面を確認することで、職員の伝達漏れを防ぐことができます。

システム運用だけでなく直接のコミュニケーションで得られる情報もあるのが、両者のバランスをとることが大事ですね。

◎保護者の安心感の向上

お客さまとのつながりを大切に、「小さな感動」からパステルのファンになっていただくことを目指しています。パソコンやITなどが苦手な先生も、お気軽にお問い合わせください！

054-626-8888

100歳で夢を叶える 木村美幸

今月のおすすめ書籍

詩人や和食料理人、洋画家、喜劇役者、そして保育士。90歳を超えてなお、日々を生き活きと過ごす14名がこの先の夢を語るインタビュー集。

『100歳で夢を叶える』 著者/木村美幸 出版社/晶文社 定価/1,760円(税込)

※LINE友だち登録者限定 抽選3名様に絵本プレゼント! 申込▶

CANVAS NEWS! 遊びと学びの秘密基地

デジタルえほんアワード2022 キッズ部門

キッズ部門 準グランプリ受賞「ぺきこのたび」(山下りあんさん)をご紹介します! 主人公のぺきこは、落としてしまったおにぎりを探しに世界旅行へ出かけ様々な食や文化と出会います。最後は、南極での釣りの最中におにぎりが釣れて無事食べる事ができたというお話。行く先々の色鮮やかな食を見ているとついお腹が空いてきたり、旅行したくなったりします。Youtubeからご覧いただけます。ぜひお楽しみください!

たのしい! みたことない! 世界が広がる! デジタルえほんアワード

http://www.digitalehonaward.net/

もしもしーIT相談室

ITを園で活用したいけど使いこなせるか不安...。日々、そうした園の先生の声に応える。パステルラインサポートセンターによるコラム。

ICT化が進んできたけれど、登降園の管理をシステムで記録するメリットは?

◎他の業務へのデータ活用

例えば、預かりや延長保育の管理や出席簿への自動記録、請求情報の作成など、それぞれの機能にデータを結びつけて同時に記録ができ、管理効率が向上します。

◎情報共有の向上

子どもたちの安全管理や職員の情報共有に必要な「登降園管理」。システムの導入を考えるとときにポイントとなる業務の一つでもあります。登降園管理をシステム化するメリットは以下のような内容があげられます。



現役保育士345 ほづる先生 @フリーランス保育士 保育士野郎

要事前予約 (定員30名)

開催日時: 11月22日(水)
内容: トークショー&ゲーム交流会
詳細は後日公式Instagramにて

11月21日(火) 11:00-12:30
どう防ぐ? 保育園給食での誤嚥事故 (一社) 母子栄養協会 認定講師 茅野 陽氏

11月21日(火) 13:00-14:30
絵画ワークショップ「創造力の花を開かせる! アート体験と子どもが夢中になる制作の秘訣」
かまゆみアート研究所・日本ワークショップクリエイション協会代表 アートクリエイター/絵画造形講師 かまゆみ氏

11月22日(水) 15:45-16:45
「おかあさんといっしょ」の魔法
体操インストラクター・タレント 小林 よしひさ氏

希望者には「受講修了証」を発行します!